



第 1338 回例会報告

平成25年10月31日(木) 晴

会長挨拶

会長 平山隆勇

ホームシアター

本日は落語に続く私の趣味の第2弾ということで、ホームシアターについてお話ししたいと思います。というより、是非話させて下さいというのが本心です。「ホームシアターと言っても、所詮は映画をみることだろう？ テレビで映画を観るのとどこが違うの？」と思われるかもしれませんが、全く違うんです。

方法は簡単です。例会でも使っている様なプロジェクターに DVD や BD などの映画ソフトの映像を入力し、スクリーンに映せばよいのです。しかし、例会で使っているようなデータ用のプロジェクターの映像はパソコンの映像を見ている分には問題はありますが、映画となると全く鑑賞には向きません。映像は荒く、色も自然のものとは異なりますし、冷却ファンの音も盛大です。ホームシアター用のプロジェクターを暗い部屋で、大きく平面性のよいスクリーンに映してみると、きめ細かく、しかも自然な色彩で映画が楽しめます。皆さんのご家庭のテレビもハイビジョンが当たり前となり、かなり美しい映像がみられるようになりました。しかし、映画はなるべく大きな画面でみたいものですが、液晶画面を100インチ以上のテレビとなると、いくら薄型でも部屋の中ではすごい圧迫感となるでしょう。使わない時は邪魔でしかないでしょう。その点スクリーンは巻き上げればよいですし、プロジェクターも天井に吊ってしまえば、邪魔になりません。また、昔から映画をスクリーンでみてきた私達にとって、スクリーンに映るやさしい映像こそが映画な

のです。液晶画面から直接発する光ではなく、スクリーンに反射したいわば『こなれた』光りが好ましいのです。

さて、テレビで映画をみるのと違うもう一つの点は音です。ある程度の性能をもった音響装置(アンプ、スピーカー)を用意できれば、スクリーンに映る人物の口元から、感情のこもった声が生々しく聞こえます。足音、ドアの開く音、銃声、ガラスの割れる音、牛の群れが暴走するシーンの地面を揺るがす音が、現実のここの様に聞こえます。背景に流れる音楽も、ある時は悲しく、ある時は喜びに満ちて、観ているものの感情を揺さぶります。この様な条件で自分の好きな映画をみれば、最高の満足感を得られることは受け合います。一つだけハードルがあるとすれば、専用の部屋がもてる

■出席報告

会員数	36名
出席対象	33名
出席者数	26名
出席率	78.8%
前回修正	78.8%

■ニコニコBOX

21名	24,000円
累計	388,000円
目標額	130万円
達成率	29.8%

■今週のことば

伴在様ご苦労様です。過日のミンダナオ講演会ご参加ありがとうございました。
国際奉仕委員会
もろもろ かたがた 諸々の方々に迷惑をかけ地球にはお世話になって満64歳を本日むかえました。もう一年お世話になると年金もらえるかな
御子柴文夫

■次回のプログラム

11月14日
米山奨学生卓話
セブ壮行会
国際奉仕委員会



かどうかです。なるべく日常から離れたところで、映画に集中したいからです。恵まれた人は家を建てる時、ホームシアター用の部屋を作るそうですが、一般的には屋根裏部屋、押入れ、土蔵の改造や使わなくなった子供部屋でホームシアターを手に入れる事が多いようです。

私は幸い、院長室兼書斎を持っていたので、そこに作ることができました。もう経歴は30年以上にはなります。映画のソフトもレーザーディスクからDVDそしてブルーレイディスクに変わり、音も映像も飛躍的によくなりました。「映画館に行けばいいじゃない」と言われそうですが、好きな時に好きな映画を観ることができるというのは、私にとってとても大切なことです。約2時間の間、仕事もロータリーも離れて、映画に没頭すると、気持ちがリフレッシュされ、新たな意欲やアイデアが生まれることもあります。私のホームシアターには3人位しか人が入れませが、今後ミニ映画会を開こうと思っていますので、映画の好きな方、またホームシアターをやってみようかという方、是非観に来て頂きたいと思います。

◇幹事報告◇

【理事会報告】

1) 11月の例会が承認されました。

7日	1339	ガバナー公式訪問例会 宮坂宥洪ガバナー講演	会長幹事
14日	1340	米山奨学生による卓話 セブ島壮行会	国際奉仕
21日	1341	新入会員セミナー 夜間例会。受付18時点鐘 18時30分点鐘 懇親会も行います。	職業奉仕
28日	1342	人生で出会った思い出の 曲を楽しみます	クラブ奉仕

2) 宮坂英貴様の新入会員推選があり、理事会で承認されました。追って11月14日例会にて公示いたします。

【連絡事項】

11月10日「湖岸清掃」朝6時45分博物館前集合です

第1338回例会

クラブ会報・雑誌広報委員会

ロータリーにおける広報

長野日報社編集顧問 伴在賢時郎

本日は、長野日報の伴在賢時郎氏をお迎えし「ロータリーと広報」「ロータリーがマスコミに取り上げられやすくするためには」といった演題で講演をいただきました。

伴在氏がロータリークラブの現役メンバーであることから鋭い、いくつかの示唆に富むお話をいただきました。その中から、編集子の印象に残ったお話の一部を記載させていただきます。



ロータリーのことを、マスコミ報道を通じて一般に知らしめたいと考えたとき「相手国に理解を求めようような真摯な外交努力をする一国の外交交渉によく似ている」と感じます。ただ「ロータリーのことを理解して欲しい」「報道して欲しい」では報道されません。例えばロータリーの通常の例会の内容が、いかに社会奉仕に努力する例会であってもマスコミ各社及び読者、視聴者は、例会の内容を知りたいと思いません。例会は、その団体と団体に所属する人へのみ利益(知識)をもたらす行為であり、地域や社会に利益をもたらす有益な行動だと感じないからです。

逆にロータリーが行った奉仕活動により地域や他団体に利益や有効なことがあると感じたときは、読者、視聴者は、積極的にその内容を知ろうとしマスコミは積極的に取材に動きます。その奉仕の有用性を上手に伝えるのが外交努力です。